

令和7年度 こばとこども園 教育活動等に対する教職員自己評価

令和7年12月19日

- 1 こども園の教育目標 … 明るく素直な子
- 2 本年度の重点目標 … 笑顔あふれる安心の基地

思いやりのある子
 進んで遊ぶ子
 考えて遊ぶ子

※評価基準 4(はい、そう思う)・3(大体当てはまる)・2(あまり当てはまらない)・1(いいえ、そう思わない)・0(無回答・該当外)
 (No.1)

評価対象	評価項目	自己評価					回答数(0を除く)	評価点	R6評価点	R5評価点
		4	3	2	1	0				
1. 教育・保育の計画性	①園の教育理念・教育方針を理解している	7	19	1	0	1	27	3.22	3.17	3.19
	②認定こども園教育・保育要領の理解に努めている	8	16	1	0	3	25	3.28	3.15	3.24
	③園の教育目標や教育・保育要領を元に教育課程や指導計画を立てている	6	11	1	0	10	18	3.28	3.59	3.36
	④乳幼児の発達段階や実態などをベースに、歳児ごとの指導計画を考え作成している	9	6	1	0	12	16	3.50	3.44	3.6
	⑤こどもの生活や動き・思いを大切にして環境構成を工夫している	11	15	0	0	2	26	3.42	3.63	3.4
	⑥幼児期の終わりまでに育てたい10の姿や小学校との連携・接続(架け橋カリキュラム等)を意識している	3	15	5	0	5	23	2.91	3.17	2.7
2. 保育の在り方・子どもへの対応	①朝の登園時には特に視診を大切にし、こどもの体調が悪くないか確かめている	23	3	0	0	2	26	3.88	3.86	3.87
	②一人ひとりの思いを大切に受け止め、個に応じた支援を心がけている	19	8	0	0	1	27	3.70	3.65	3.62
	③遊びこめるような環境や時間への配慮をし、こどもの自主性・自発性を大切にしている	9	17	0	0	2	26	3.35	3.38	3.13
	④行事や活動を通して、子ども同士のかかわりや異年齢児との交流を大切にしている	15	9	1	0	3	25	3.56	3.4	3.23
	⑤教職員全員が、全園児について理解していくように工夫や努力をしている	14	11	3	0	0	28	3.39	3.29	3
	⑥支援の必要な園児の教育・保育について、定期的に話し合う機会を設け、個に応じた個別の支援計画を立てている	5	12	6	1	4	24	2.88	2.72	2.5
	⑦不適切な保育とならないように、定期的にチェックや話し合う機会を設け、こどもの最善の利益を尊重した教育・保育に努めている	7	14	5	0	2	26	3.08	3.17	3.16
3. 教職員としての能力や良識・適正	①教職員としての話す力や聞く力の向上を意識している	11	15	1	0	1	27	3.37	3.32	3.19
	②こどもや、保護者との対応には、公平さを欠かさないように平等に接している	22	5	0	0	1	27	3.81	3.71	3.62
	③自らの健康に配慮し、爪が伸びていないか等、保育上での安全性にも気をつけている	19	9	0	0	0	28	3.68	3.71	3.65

評価対象	評価項目	自己評価						回答数(0を除く)	評価点	R6評価点	R5評価点
		4	3	2	1	0					
3. 教職員としての能力や良識・適正	④教職員同士のコミュニケーションを円滑にし、片寄った人間関係を作らないようにしている	13	12	1	1	1	26	3.50	3.29	3.2	
	⑤子どものささやかな成長を見取り、それを喜ぶことができる	27	0	0	0	1	27	4.00	3.79	3.9	
	⑥園のこどものことだけでなく、自然や社会の出来事にも興味がある	8	15	5	0	0	28	3.11	3.21	3.3	
4. 保護者への対応	①こどもの様子や園情報は、直接話したり、電話・連絡帳等を使ったりして保護者に適切に伝える	17	7	0	0	4	24	3.71	3.65	3.6	
	②保護者との会話は、正しい日本語・敬語で語りかけ、相手の話には謙虚に耳を傾けている	15	12	0	0	1	27	3.56	3.46	3.4	
	③園児や保護者の個人情報の管理については園の方針に従い、情報が流失しないようにしている	25	2	0	0	1	27	3.93	3.96	3.8	
	④保護者からの具体的な意見・要望には適切に対応し、上司に連絡・報告・相談をする	22	3	0	0	3	25	3.88	3.88	3.8	
5. 地域の自然や社会との関わり	①園へ見学に来た人に、園の教育方針等を質問されても、きちんと答えることができる	5	15	7	0	1	27	2.93	2.88	3.0	
	②こどもの教育のために、利用したい地域の施設や機関、素材について理解している	4	11	10	0	3	25	2.76	2.62	2.7	
	③地域開放や子育て支援について、具体的な内容を理解している	0	16	9	1	2	25	2.68	2.71	2.5	
6. 安心と安全	①ヒヤリハットの事例については振り返りを行い、大きな事故につながらないようにしている	21	5	1	0	1	27	3.74	3.46	3.5	
	②安全点検、検食、訓練等は適正に実施対応し、安全意識・防災意識を高めている	18	10	0	0	0	28	3.64	3.71	3.4	
	③健康で安全な生活を守り育てるために、感染症対策等に自ら取り組み、子どもや家庭への啓発に努めている	17	11	0	0	0	28	3.61	3.64	3.5	
	④閉じ込め・置き去り・取り残などないように状況に応じ、点呼や人数確認を確実にやっている	20	6	0	0	2	26	3.77	3.85	3.7	
7. 研修と研究	①遊びと生活の専門性(職務の専門性)を高め、知識や技能を身につけるよう研修している	5	11	9	0	3	25	2.84	3.22	2.9	
	②日々の実践を見合い、検討・反省・評価を加え、教育・保育の質の向上に繋げている	5	17	2	0	4	24	3.13	3.26	3.0	
	③自分の教育・保育の在り方や悩みについて、同僚の教職員や上司等と話し合っている	9	14	2	0	3	25	3.28	3.25	3.3	
	④専門知識や技能の他に、趣味や読書・ボランティア活動などにも関心をもっている	8	7	10	1	2	25	2.96	2.96	3.1	
	⑤パソコンやタブレット・スマートフォンなどのICT機器を前向きに活用し、教育・保育の充実に努めている	5	11	7	0	5	23	2.91	3.04	2.9	